

りますとともに、山陽新幹線・山陽自動車道・本年開港予定の新広島空港の高速交通三機関を備える理想的な位置条件を有しております。

これらのポテンシャルと、高等教育機関の集積を活かした学術・技術・試験研究等の拠点として、昭和五十九年には「テクノポリス地域」の指定、平成二年には「頭脳立地法の集積促進地域」の指定など、県としても国と連携して各種の大型プロジェクトを展開し、東広島市の都市建設に全力を投入して参りました。

現在、研究・工業・住宅等、各種都市機能の受け皿づくりは相当程度に進展し、今や東広島市は都市として成熟期を迎えようとしております。

従いまして、今後は、各種都市基盤整備や新規開発プロジェクトなどのハード面での都市づくりと合わせて、国内外あるいは地域内での交流促進など、ソフト面での取り組みが重要性を増すものと考えられます。

どうか、本日の学園都市づくり交流会議の発足を契機とし、大学が真に地域に開かれた学術・研究・技術・交流等の場としてその機能を発揮しますとともに、大学・市・市民が一体となって、文化と人を大切にする学園都市として東広島市が益々発展されることを祈念いたしまして御挨拶いたします。

## 評 議 会 だ よ り

### 臨時評議会

平成五年二月十八日(木)

#### (報告)

学長予定者選挙の開票結果について  
金丸選挙管理委員会議長から次のとおり報告があった。

(1) 二月十七日の開票結果について  
得票数上位二名(五十音順)

天 野 實  
原 田 康 夫

(2) 二月十八日の開票結果について  
有権者総数 一、五八三名  
投票総数 一、三六九票  
無効投票数 二三票  
有効投票数 一、三四六票

当選者  
原 田 康 夫 八〇四票  
次点者  
天 野 實 五四二票

(議事)  
一 学長予定者の決定について  
田中学長より提案及び説明があり、  
広島大学長選挙規程第十四条及び第十五条により原田康夫氏を次期学長  
予定者として決定した。

二 開票結果の公示(案)について  
田中学長より提案及び説明があり、  
別紙原案の形式で公示することを決定した。

第四五四回評議会  
平成五年三月九日(火)

(部局長候補者の選考結果について)  
理学部長 西川恭治(再任)  
原爆放射能医学研究所長 藏本 淳(再任)

(教員選考報告)  
留學生センター 講師 田村泰男  
(日本語・日本事情担当)

理学部 講師 佐伯 修(位相数学)  
歯学部附属病院 講師 安井良一(第二口腔外科)  
以上の報告があった。

月三三日付けて廃止した旨、報告があった。

評議会の自己点検・評価の実施について  
原案のとおり、自己点検・評価委員会に提出することを承認した。  
なお、自己点検・評価委員会から、再度修正等の要請があった場合の取扱いについては、学長及び報告書作成担当評議員に一任することとした。

二 広島大学教養的教育検討委員会規程の制定について  
各局局で検討の上、次回開催の定例評議会に諮ることとした。

三 広島大学学生交流規程の改正について  
各局局で検討の上、次回開催の定例評議会に諮ることとした。

四 広島大学放射線障害予防規程の改正について  
原案のとおり承認した。

五 広島大学既修得単位等の認定に關する細則の制定について  
各局局で検討の上、次回開催の定例評議会に諮ることとした。

田中学長から、任務終了に伴い、二